

# Metaのデジタルリテラシー向上に向けての 取組について

2023年2月6日

# アジェンダ

- Metaについて
- デジタルリテラシー教育プログラム「みんなのデジタル教室」
- クリエイターと連携した啓発プログラム「インスタANZENカイギ」
- 「大人のためのFacebookガイドブック」

## Metaのミッション

コミュニティづくりを応援し、  
人と人がより身近になる世界を実現する



## みんなのデジタル教室

アジア太平洋地域の専門家との協働のもと、  
責任あるデジタル市民による

グローバルコミュニティを構築し、

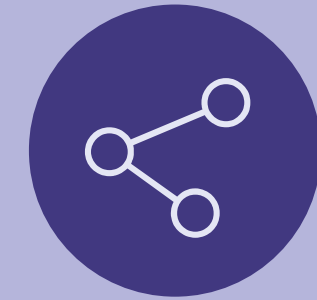
人々がデジタル世界で求められるスキルを

身に着けることができるよう、

各種リソースを提供



**18** カ国で展開



**45+** パートナー団体



**5** トピック



**200** 万人

# みんなのデジタル教室

## 日本での取り組み

日本では2020年12月に開始、NPO法人企業教育研究会と共同で日本に合わせたコンテンツを制作

全国の中学校、高校で2トピックの授業を提供し、**24,000名以上**が受講

**86%**の受講者がインターネットやアプリ、SNSの利用の仕方について考えが変わったと回答

「リソース」ページでは、安心安全のためのInstagramの機能の設定方法を紹介する動画なども提供

みんなのデジタル教室

Japan JA

みんなのデジタル教室

プログラムについて リソース パートナー キャンペーン

共により良いデジタルの世界へ

「みんなのデジタル教室」は、アジア太平洋地域の専門家との協働のもと、利用者の皆さまがデジタル社会で求められるスキルを身につけるための各種リソースを提供しています。Metaは「みんなのデジタル教室」を通じて、幅広い人々にリソースを届け、アジア太平洋地域のデジタルコミュニティのさらなる発展のために取り組んでいます。

[続きを読む](#)

### デジタルシチズンシップとは？その意義とは？

デジタルシチズンシップとは、テクノロジーを適切に、責任と権限を持って使用するためのスキルを継続的に発展させることです。このスキルには、以下が含まれます。

自分の身を守り、レジリエンスを高め、事実とフィクションを見分ける。

## みんなのデジタル教室

### 授業について：01 デジタルアイデンティティを考える

対象	中学生・高校生
教科	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間・情報・道徳
時間	50分
概要	<p>SNSなどのオンライン上で公開されている個人情報について考えます。一般的にイメージされる「個人情報」だけでなく、普段あまり意識しない「履歴」や情報の「シェア」が蓄積することも、その人の「デジタルアイデンティティ」を構成していることがわかります。</p> <p>安全に、安心して楽しくネットのアプリやSNSを利用するための対策やコツを、クリエイターへのインタビューやアクティビティを通じて学びます。</p>





# みんなのデジタル教室

## 授業について：01 偽ニュースの見分け方

対象	中学生・高校生
教科	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間・情報・道徳
時間	50分
概要	<p>誰かをだましたり、冗談のつもりで投稿されたりした情報は、あっという間に拡散され、多くの人に影響を与えています。こういった「偽ニュース」が発信される動機や、情報を受け取る側の視点を考えます。</p> <p>「偽ニュース」を見分けるための様々なポイントについて、アクティビティを通じて学びます。また、拡散しないためのコツを学びます。</p>



# 若年層の利用者の皆様と一緒に安心安全な使い方について考えるプロジェクト #インスタANZENカイギを推進



10代など若い利用者にInstagramの安心安全な使い方について考えてもらうため、クリエイターと一緒に活動・発信するプログラム

日本独自の取り組みで、2020年3月にスタート





## リールで知ろう！インスタANZENヒント

2022年2月8日のセーフターインターネットデーに合わせ、5人の国内クリエイターが安心安全のための機能を紹介するリールを制作。

現在までに計100万回以上再生。



# 安全なFacebook活用についてまとめた『大人のためのFacebookガイドブック』



**ヒント 6** 詐欺行為や偽ニュースに気をつけましょう

**個人情報を抜き取られないために**

インターネットを通じて、さまざまな人があなたに連絡してきます。たとえば、あなたが賞品や賞金を獲得したという内容や、誰かがあなたの助けを必要としているという内容、自分の代わりに金銭を管理してほしいという内容のメッセージが、Messenger などを通して送られてくる場合があります。このようなメッセージでは多くの場合、銀行口座やクレジットカード番号、運転免許証番号のような個人情報を要求してきます。しかし、これらの多くが詐欺行為です。最近多い詐欺は、クレジットカード番号やキャッシュカード番号とその暗証番号を、確認のためと称して入力させるものです。また、オークション、プロバイダ、電子メール等のID・パスワードを確認と称して入力させるものもあります。

また、知らない人からのメッセージで動画が送られてくることがあります。動画へのリンクをタップしないように注意しましょう。リンク先でログインを求められても、パスワードを入力してはいけません。アカウントが乗っ取られてメッセージが送られてくることもあるため、親しい友達からのメッセージでも注意が必要です。

さらに、偽ニュース（フェイクニュース）にもお気をつけください。偽ニュースとは悪意にもとづいた虚偽の情報ですが、友達からシェアされるとうっかり信じてしまうこともあるかもしれません。ニュースなどをシェアするときは内容をよく確認しましょう。

**自分の身を守るために**

実際に応募していた懸賞などであっても、何かをもらえる可能性はほとんどありません。詐欺被害を防いだり、偽ニュースから身を守る方法をいくつか紹介します。

**ポイント**

- ✓ 知らない人からのメールや添付ファイルを開いたり、メールに記載されたリンクをタップしたりしない。
- ✓ 住所や電話番号などの個人情報を誰かに教える前には、その人があなたの知人に間違いないかを確認する。
- ✓ URLをタップして別のログインページに転送された場合は、ブラウザのアドレスバーを確認して、信頼できるサイトであることを確かめる。信頼できない場合は、フィッシングに引っかかる前に、ただちにそのサイトから離れる。
- ✓ 画像、数字、引用、日付などが文脈を無視して使用されていないか、情報の出典の記載があるか、古くないか、などを確認する。
- ✓ 信頼できる情報源を利用して、ニュースなどその情報の全体像を把握する。
- ✓ 事実ではなく、感情に訴えかける強い言葉が使われている場合があるため、記事や写真を共有する前に、少し考えてみる。

26 27

